

令和8年度9月補正予算案のポイント

物価高騰等で苦しむ生活者や、影響を受ける事業者を支援するとともに、産業競争力の強化、教育環境の整備のほか、大雨等の災害からの復旧や防災・減災対策、ツキノワグマ対策の推進など、県民生活の安全・安心の確保等に必要な補正予算を編成

《補正予算額》 一般会計 155億22万1千円
(債務負担行為) 46億8038万4千円

《主な内容》

物価高騰下における生活者や事業者への支援 11億8415万4千円

- ・生活にお困りの方への食料支援を充実させるため、ふーさぼの食料購入費を増額するとともに、新たにまいさぼ出張所での食料配布を実施
- ・生活に困窮する子育て世帯への切れ目ない支援を行うため、県内のフードバンク団体が実施する食料品等の配布活動に対し必要な経費を補助
- ・地域産業と雇用の維持を図るため、物価高騰の影響を受け、支援機関の伴走により経営課題に対応する中小企業等への臨時的な支援金を支給するとともに、経営課題解決を後押しするための包括的な相談支援窓口の設置に向けた検討に着手
- ・肥料価格高騰の影響を緩和するため、化学肥料低減に取り組む営農者に対し肥料費の一部を助成

産業競争力の強化 1億2627万円

- ・地域未来戦略の「航空・宇宙」分野における推進体制の構築と事業展開に向けた調査を実施
- ・地域未来戦略関連分野をはじめとする売上高10億円突破を目指す中小企業の設備投資等を支援
- ・県内企業とスタートアップの協業や資金接続等を推進するため、2027年度のSOBA Tech NAGANOの開催に向けた準備に着手

教育環境の整備 33億7715万4千円

- ・県立高校の学習環境改善のため、令和9年度までに夏季に使用する特別教室等へエアコンを設置
- ・国の示す改革先導拠点に採択された松本工業高等学校における教育改革を推進するため、実習施設の改修等に着手
- ・これからの学びにふさわしい学習環境の実現に向け、県立高校再編に伴う施設整備を着実に実施
- ・高度産業人材の育成・確保に向け、「信州高等専門学校（仮称）」検討懇話会を設置し、新たな高等専門学校のあり方を検討

県民生活の安全・安心の確保 107億9403万1千円

令和8年8月の大雨をはじめとする災害への対応

- ・被災した道路、河川、砂防施設、森林、農業用施設等の応急対策、復旧工事等を実施
- ・市町村が行う渇水による農作物被害対策に対し助成

安全・安心な県土づくりの推進

- ・頻発・激甚化する災害への備えや安全・安心な交通の確保に向け、砂防施設等の防災・減災対策や通学路の歩道整備等を推進
- ・損傷が進んでいる道路インフラを集中的に修繕するための予算を増額

ツキノワグマ対策の推進

- ・ツキノワグマによる人身被害を防止するため、市町村の対策支援や捕獲個体の調査分析等を実施

物価高騰下における生活者や事業者への支援

食料支援セーフティネット構築支援事業 1612万8千円

〈健康福祉部〉

生活にお困りの方への食料支援を充実させるため、長野県フードサポートセンター（ふーさぽ）の食料購入費を増額するとともに、町村社会福祉協議会が担う「まいさぽ出張所」での食料配布を新たに実施し、地域の身近な場所で支援を受けられる体制を整備

〔食料提供窓口数:26か所→84か所（2026年度）〕

子育て世帯食料品等緊急支援事業 3822万4千円

〈県民文化部〉

長引く物価高騰により生活に困窮する子育て世帯への切れ目ない支援を行うため、県内のフードバンク団体が実施する食料品等の配布活動に対し必要な経費を補助

- ・補助対象者 県内に食料品配送拠点を有し、広域的に活動するフードバンク団体
- ・補助対象経費 食料品・日用品の購入費等
- ・補助率 10/10以内

〔補助団体数:3団体（2026年度）〕

（新）中東情勢物価高騰対応中小企業等特別支援事業 7億630万3千円

〈産業労働部〉

地域産業と雇用の維持を図るため、物価高騰の影響を受け、支援機関の伴走により経営課題に対応する中小企業・小規模事業者に対し、臨時的な支援金を支給するとともに、経営課題解決を後押しするための包括的な相談支援窓口の設置に向けた検討に着手

- ・補助対象者 支援機関の伴走により経営課題対応計画書を策定した中小企業・小規模事業者
- ・補助要件 直近の売上高が前年同期比で8%以上減少、又は、収益性が5ポイント以上減少していること
- ・補助対象経費 令和8年3月以降の仕入価格の上昇分
- ・補助率 1/2以内（上限額20万円）

〔支援事業者数:3,000者（2026年度）〕

（新）肥料価格高騰緊急支援事業 4億2349万9千円

〈農政部〉

肥料価格高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の低減に取り組む農業経営体に対して、肥料費の一部を助成

- ・補助対象者 農産物販売を主たる収入としているみどり認定者等※
- ・補助対象経費 肥料費
- ・補助率 1/10以内（上限額150万円）

※みどり認定者、信州の環境にやさしい農産物認証取得者、有機JAS認証取得者、環境保全型農業直接支払交付金における有機農業実践者、エコファーマー制度認定者

〔持続可能な農業に取り組む面積:3,494ha（2026年度）〕

産業競争力の強化

（新）航空機システム分野展開可能性調査事業 1829万円

〈産業労働部〉

県内企業による航空機システム分野への新規参入及び事業拡大を促進するため、タスクフォースチームを設置するとともに、国内外の市場動向や県内企業の技術力等を踏まえ、重点領域への展開可能性等について調査・分析を実施

- ・タスクフォースチームの設置、運営
- ・航空機システム分野の市場及び重点領域への展開可能性の調査
- ・航空機システムメーカーの誘致可能性調査
- ・県内企業の技術的優位性と市場ニーズの適合性の検証

売上高10億円突破支援プロジェクト事業 1億円

〈産業労働部〉

地域未来戦略関連分野をはじめ、地域産業の稼ぐ力を強化するため、売上高10億円突破を目指す企業による、売上拡大を加速化するための設備投資等を中小企業成長支援補助金により支援

- ・補助対象者 成長志向宣言を行った中小企業者（売上高1億円以上10億円未満）
- ・補助対象経費 建物費、機械装置費、ソフトウェア費、外注費
- ・補助率 1/2以内（小規模事業者は2/3以内）
- ・補助上限額 2,000万円

〔支援事業者数:5者（2026年度）〕

SOBA Tech NAGANO開催準備事業 798万円

〈産業労働部〉

県内企業とスタートアップの協業や資金接続等を推進するため、2027年度のSOBA Tech NAGANOの開催に向けた企画骨子を作成するとともに、関係機関との準備検討会等を実施

- ・SOBA Tech NAGANOの企画・コンセプト設計、関係機関との準備・検討
- ・広報素材等の制作、SusHi Tech Tokyoへの出展ブース企画

教育環境の整備

県立高校空調設備整備事業 10億789万6千円(債務負担行為 10億789万7千円)

〈教育委員会〉

長期化する猛暑を踏まえ県立高等学校における学習環境等を改善するため、夏季に使用する特別教室等の空調整備率が令和9年度までに100%となるよう、エアコン設置工事等を実施

- ・実習室への業務用エアコン設置 194室

長野県公立高等学校等教育改革推進基金積立金 22億3467万9千円

〈教育委員会〉

文部科学省の高等学校等教育改革促進事業に採択された改革先導拠点における教育改革推進経費に充てるため、公立高等学校等教育改革推進基金を積増し

- ・改革先導拠点 松本工業高等学校
- ・取組内容 学科再編等による高度ものづくり人材育成
- ・事業期間 令和8年度～令和10年度

(新) 高等学校等教育改革推進事業 1億3020万5千円(債務負担行為 2768万9千円)

〈教育委員会〉

文部科学省の高等学校等教育改革促進事業に採択された改革先導拠点における教育改革を推進するため、実習施設の改修等に着手

- ・改革先導拠点 松本工業高等学校
- ・実施内容 実習施設改修に係る設計、実習設備の導入

高等学校再編施設整備事業 (債務負担行為 35億131万1千円)

〈教育委員会〉

県立高等学校のこれからの学びにふさわしい学習環境を実現するため、長野スクールデザインプロジェクトにおける施設整備基本計画に基づき、学校施設の整備を着実に実施

- ・対象施設 赤穂総合学科新校

(新)「信州高等専門学校(仮称)」検討懇話会事業 437万4千円

〈県民文化部〉

長野県の将来を支える高度産業人材を育成・確保するため、「信州高等専門学校(仮称)」検討懇話会を設置し、新たな高等専門学校のあり方を検討

- ・学識経験者等を構成員とした検討懇話会の開催
- ・新たな高等専門学校における人材育成のニーズ等を把握するための企業調査を実施

県民生活の安全・安心の確保

令和8年8月の大雨をはじめとする災害への対応

災害復旧事業 18億8850万円

〈建設部〉

令和8年8月の大雨により被災した道路、橋梁、河川を迅速に復旧

- ・復旧箇所 4か所(安曇野市)

県単独公共事業 48億8250万1千円

〈建設部・林務部・農政部〉

被災した道路、河川、砂防施設、森林、農業用施設等の応急対策、復旧工事等を実施

- ・被災箇所の復旧工事等 285か所(長野市、上田市、安曇野市ほか)

農業水利施設渇水被害緊急対策事業 1400万円

〈農政部〉

令和8年7月からの渇水による水稻等の農作物被害を防止し、生産量と品質を確保するため、降雨量の著しく少ない市町村が行う渇水対策事業に対して助成

- ・補助対象者 渇水対策を実施した市町村

安全・安心な県土づくりの推進

補助公共事業 30億5699万円

〈建設部〉

頻発・激甚化する災害に備えるとともに、安全・安心な交通を確保するため、砂防施設等の防災・減災対策や通学路の歩道整備等を推進

- ・整備箇所 102か所（松本市、安曇野市、飯田市ほか）

県単独公共事業 9億2200万円

〈建設部〉

市街地や観光地へのアクセス道路の舗装や区画線の修繕、沿道美化を実施するほか、冬季の低温により損傷した舗装を集中的に修繕

- ・修繕箇所 57か所（長野市、中野市、立科町ほか）

ツキノワグマ対策の推進

ツキノワグマ総合対策事業 3004万円

〈林務部〉

ツキノワグマによる人身被害の未然防止を図るため、市町村が行う出没防止・捕獲対策への支援や捕獲個体の調査分析等を実施

- ・市町村が取り組む誘引物の除去や捕獲檻の導入等に要する経費を支援
- ・捕獲された個体の食性やDNA等の調査分析
- ・現場対応する職員の安全確保に必要な防護資材を整備

〔ツキノワグマによる人身被害：0人（2026年度下半期）〕

その他

（新）次期総合5か年計画策定に向けた県民意見募集事業 315万2千円

〈企画振興部〉

県民の多様な意見を踏まえた次期総合計画を策定するため、幅広い県民の県政への関心を喚起するとともに、その「声」を幅広く募集

- ・県民とのキックオフイベントの開催
- ・県公式LINE等による意見収集

（新）長野県行政機構審議会運営事業 100万4千円

〈総務部〉

人口減少による人材不足の深刻化やAI等のデジタル技術の進展などを踏まえ、県民サービスの質の維持・向上と持続可能な行政運営の実現に向け、県の行政機構のあり方について、専門的な見地から調査審議を実施

ジェンダー主流化キックオフ事業 409万2千円

〈県民文化部〉

「ジェンダー主流化」を県組織に定着させるため、新たに設置するジェンダー主流化推進アドバイザーの伴走支援により、職員の理解促進や実践力向上に向けた取組を実施

（新）映像作品活用プロモーション事業 848万9千円（債務負担行為 1200万5千円）

〈観光スポーツ部〉

本県のブランドイメージ向上と、更なる誘客・周遊促進、ロケ誘致を推進するため、本県が舞台となる映像作品を活用した観光プロモーションを実施

- ・ロケ地を紹介する特設WEBサイトを構築
- ・デジタルサイネージやWEB広告用の動画制作
- ・オリジナルロゴマークの制作 等

〔特設WEBサイトへのセッション数：12.5万件以上（2027年度）〕